

平均購入数は12.5冊で、基準以上となっている。だが、22.6%の学校が雑誌の基準を満たしておらず、各課程の中で一番高い割合を示している。

「進学コース」では、特別な教室や部屋は、演習室と専任教員室（各々43.6%）を除いてほぼ5割以上の学校に設置されている。図書室は、専用に近い状態で設置されているが、図書の管理は、教員（41.3%）や事務員（31.4%）が行っている。蔵書の数は、平均で7,248冊で、基準を満たしている学校が86.0%である。雑誌は、平均で33.1冊を定期購入しているが、基準を満たしていない学校が22.3%ある。

「3年課程」では、演習室（47.0%）、教員活動に利用できる教室（43.7%）、専任教員室（43.0%）を除いた教室や部屋は、8～9割ほどの学校で設置している。図書室は、ほぼ専用に近い状態で設置されているが、図書を管理しているのは、教員（43.0%）や事務員（36.0%）である。蔵書は、平均で6,938冊であり、93.3%とほとんどの学校が基準を越えている。雑誌は、平均で27.0冊を定期購入しており、87.3%の学校で基準を満たしている。

「短大」や「大学」では、特別な教室や部屋は7割以上とほとんどの学校に設置されている。蔵書（各々約3万5千冊、約17万冊）や雑誌（各々173冊、383冊）も数多く購入され、基準を満たしている。

VI 臨床実習

1. 臨床実習の問題点

臨床実習に対する問題点についてまとめたのが、表38である。

「大学」を除く各課程で、『臨床実習担当の教員の確保』に問題があると回答している学校の割合が54.5～69.0%と一番高く、「大学」でも、割合が一番高くはなかったが、70.0%と高い割合であった。

『実習施設の確保』が困難な施設や科目についてたずねた自由記述をまとめたのが、表39である。

「大学」を除く各課程で、母性看護関係の実習施設の確保が困難であると回答している学校の割合が6割以上と高かった。

表38 臨床実習の問題点（複数回答）

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
実習施設の確保	28(43.8)	120(43.0)	146(55.3)	103(34.3)	16(36.4)	4(40.0)	417(43.4)
実習日程の調整	31(48.4)	144(51.6)	177(67.0)	146(48.7)	15(34.1)	8(80.0)	521(54.2)
臨床実習担当の教員の確保	38(59.4)	172(61.6)	184(69.7)	207(69.0)	24(54.5)	7(70.0)	632(65.8)
その他	15(23.4)	35(12.5)	39(14.8)	43(14.3)	6(13.6)	1(10.0)	139(14.5)
問題はない	7(10.9)	33(11.8)	16(6.1)	23(7.7)	8(18.2)	0(—)	87(9.1)
無回答	1(1.6)	3(1.1)	2(0.8)	2(0.8)	0(—)	0(—)	8(0.8)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

看護教育調査

表39 確保が困難な実習施設や科目（複数回答）

		高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
科 目	母性看護関係	18(64.3)	86(71.7)	109(74.7)	72(69.9)	12(75.0)	1(25.0)	298(71.5)
	小児看護関係	10(35.7)	65(54.2)	100(68.5)	62(60.2)	8(50.0)	3(75.0)	248(59.5)
	成人看護関係	1(3.6)	11(9.2)	11(7.5)	5(4.9)	2(12.5)	0(—)	30(7.2)
	老人看護関係	0(—)	6(5.0)	12(8.2)	6(5.8)	3(18.8)	0(—)	27(6.5)
	精神看護関係	0(—)	6(5.0)	6(4.1)	22(21.4)	1(6.3)	1(25.0)	36(8.6)
実習施設	総合病院	2(7.1)	10(8.3)	8(5.5)	4(3.9)	0(—)	0(—)	24(5.8)
	保健所	0(—)	0(—)	10(6.8)	7(6.8)	3(18.8)	2(50.0)	22(5.3)
	保育園	0(—)	1(0.8)	5(3.4)	5(4.9)	1(6.3)	0(—)	12(2.9)
そ の 他		11(39.3)	60(50.0)	63(43.2)	45(43.7)	6(37.5)	3(75.0)	188(45.1)
無 回 答		1(3.6)	1(0.8)	3(2.1)	3(2.9)	0(—)	0(—)	8(1.9)
回 答 総 数		28(100.0)	120(100.0)	146(100.0)	103(100.0)	16(100.0)	4(100.0)	417(100.0)

註) 自由記述より分類

「大学」では、小児看護関係の「実習施設の確保が困難である学校が75.0%で一番高い割合であった。

『その他』に書かれている内容をみると、『実習施設が遠い』、『学生のカンファレンスルームがない』、『実習施設に学生の更衣室や休憩室がない』など実習施設全般に関係していることや、また、『指導内容に関すること』、『指導員の資質』、『専任の専任の実習指導員の確保』など臨床実習指導員に関する事など、多種多様な回答があった。

2. 臨床実習の施設

利用している実習施設についての結果が、表40である。

「高校衛看」と「准看学校」では、実習施設として『総合病院』を利用している学校の割合が、それぞれ95.3%、83.2%と一番高かった。

「進学コース」と「短大」では、『総合病院』と『保健所』とを実習施設として利用している学校が、9割以上あった。

「3年課程」では、『保育園・幼稚園』、『総合病院』、『保健所』を実習施設として利用している学校が、9割以上あった。

「大学」では『総合病院』、『保育園・幼稚園』、『保健所』を実習施設として利用している学校が100%であった。

各課程の学校が一番利用している実習施設は、『総合病院』であった。

『その他』の内容は、『保健センター』18校、『小学校や養護学校などの学校』12校、『健康管理センター』9校、『重症心身障害児施設』9校、『診療所』8校、『リハビリテーション関連施設』6校、『乳児院』4校、『療養所』4校など多種多様で、施設の種類はゆうに20施設を越えていた。

利用する施設の数は、「高校衛看」と「准看学校」が平均で2.5～3施設と少なく、「大学」になると

表40 利用している実習施設（複数回答）

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大	学	全	体
[利用している実習施設]									
精神病院	17(26.6)	171(61.3)	213(80.7)	202(67.3)	27(61.4)	7(70.0)	636(66.2)		
老人病院	7(10.9)	33(11.8)	16(6.1)	17(5.7)	10(22.7)	3(30.0)	86(8.9)		
総合病院	61(95.3)	232(83.2)	248(93.9)	276(92.0)	43(97.7)	10(100.0)	870(90.5)		
その他の病院	18(28.1)	96(34.4)	53(20.1)	40(13.3)	5(11.4)	3(30.0)	215(22.4)		
老人保健施設	5(7.8)	32(11.5)	51(19.3)	69(23.0)	19(43.2)	8(80.0)	184(19.1)		
保育園・幼稚園	4(21.9)	103(36.9)	224(84.8)	278(92.7)	33(75.0)	10(100.0)	662(68.9)		
助産所	0(—)	1(0.4)	5(1.9)	15(5.0)	3(6.8)	5(50.0)	29(3.0)		
保健所	1(1.6)	34(12.2)	244(92.4)	275(91.7)	40(90.9)	10(100.0)	604(62.9)		
特別養護老人ホーム	24(37.5)	96(34.4)	149(56.4)	175(58.3)	21(47.7)	8(80.0)	473(49.2)		
その他の福祉施設	6(9.4)	26(9.3)	46(17.4)	71(23.7)	5(11.4)	5(50.0)	159(16.5)		
その他	4(6.3)	39(14.0)	32(12.1)	35(11.7)	8(18.2)	2(20.0)	120(12.5)		
[実習施設数]									
1施設	18(28.1)	38(13.6)	1(0.4)	3(1.0)	2(4.5)	0(—)	62(6.5)		
2～3施設	31(48.4)	132(47.3)	30(11.4)	38(12.7)	6(13.6)	0(—)	237(24.7)		
4～5施設	15(23.4)	94(33.7)	159(60.2)	176(58.7)	22(50.0)	2(20.0)	468(48.7)		
6施設以上	0(—)	15(5.4)	74(28.0)	83(27.7)	14(31.8)	8(80.0)	194(20.2)		
平均実習施設数	2.5	3.0	4.8	4.8	4.9	7.1	4.2		
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)		

平均で7.1施設と数が多かった。

3. 臨床実習指導員

臨床実習指導員について、『学校に専任の臨床実習指導員がいる（学校に専任がいる）』『学校の専任教員が、臨床実習指導員を兼ねている（学校の専任教員が兼任）』『臨床実習施設の職員に、専任の臨床実習指導員がいる（実習施設に専任がいる）』『臨床実習施設の職員が、臨床実習指導員を兼ねている（実習施設の職員が兼任）』『その他』という項目で、複数回答を求めた。その結果をまとめたのが、表41である。

「准看学校」と「3年課程」を除いた各課程では、『学校の専任教員が、臨床実習指導員を兼ねてい

表41 実習指導者の専任兼任別（複数回答）

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大	学	全	体
学校に専任がいる	2(3.1)	22(7.9)	49(18.6)	24(8.0)	12(27.3)	4(40.0)	113(11.8)		
学校の専任教員が兼任	47(73.4)	190(68.1)	201(76.1)	203(67.7)	36(81.8)	9(90.0)	686(71.4)		
実習施設に専任がいる	7(10.9)	27(9.7)	34(12.9)	37(12.3)	4(9.1)	1(10.0)	110(11.4)		
実習施設の職員が兼任	44(68.8)	236(84.6)	194(73.5)	233(77.7)	30(68.2)	1(10.0)	738(76.8)		
その他	3(4.7)	7(2.5)	8(3.0)	2(0.7)	6(13.6)	1(10.0)	27(2.8)		
無回答	1(1.6)	0(—)	0(—)	1(0.3)	1(2.3)	0(—)	3(0.3)		
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)		

看護教育調査

表42 臨床実習者の所属

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
学校兼任 ¹⁾	16(25.0)	23(8.2)	35(13.3)	32(10.7)	9(20.5)	5(50.0)	120(12.5)
学校にのみいる ²⁾	0(—)	4(1.4)	18(6.8)	8(2.7)	1(2.3)	3(30.0)	34(3.5)
施設兼任 ³⁾	13(20.3)	67(24.0)	36(13.6)	63(21.0)	4(9.1)	0(—)	183(19.0)
施設にのみいる ⁴⁾	2(3.1)	12(4.3)	9(3.4)	17(5.7)	0(—)	0(—)	40(4.2)
学校兼任・施設兼任 ⁵⁾	25(39.1)	141(50.5)	114(43.2)	144(48.0)	16(36.4)	0(—)	440(45.8)
学校・施設にいる ⁶⁾	7(10.9)	30(10.8)	51(19.3)	34(11.3)	13(29.5)	2(20.0)	137(14.3)
無回答	1(1.6)	2(0.7)	1(0.4)	2(0.7)	1(2.3)	0(—)	7(0.7)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

- 註) 1) 「学校兼任」: 学校の専任教員が、臨床実習指導者を兼ねている
 2) 「学校にのみいる」: 「学校兼任」以外で、学校にのみ臨床実習指導者がいる
 3) 「施設兼任」: 臨床実習施設の職員が、臨床実習指導者を兼ねている
 4) 「施設にのみいる」: 「施設兼任」以外で、臨床実習施設にのみ臨床実習指導者がいる
 5) 「学校兼任・施設兼任」: 学校の専任教員と臨床実習施設の職員の両方が、臨床実習指導者を兼ねている
 6) 「学校・施設にいる」: 「学校兼任・施設兼任」以外で、学校と臨床実習指導施設ともに臨床実習指導者がいる

る」学校の割合が7割以上と一番高かった。また、「准看学校」と「3年課程」では、『臨床実習施設の職員が、臨床実習指導員を兼ねている』学校の割合が7割以上と一番高かった。

臨床実習指導者の所属を、学校の専任・兼任別と施設の専任・兼任別によるタイプ分けをしたのが、表42である。

学校の専任教員と臨床実習施設の職員の両方が兼任である、すなわち専任の臨床実習指導員がいない『学校兼任・施設兼任』が、「大学」を除く各課程とも36.4～50.5%と一番高い割合であった。また、専任兼任を問わず学校に実習指導者がいる学校は、「大学」では80.0%であったが、それ以外の各課程では9.7～22.7%であった。専任兼任を問わずに実習施設に実習指導者がいる学校は、「大学」を除いた各課程では、9.1～28.3%であった。

4. まとめ

以上より、各課程における臨床実習の特徴をまとめると、以下の通りである。

「高校衛看」では、95.3%とほとんどの学校が総合病院を中心に、1～3施設で臨床実習を実施している学校が76.5%である。臨床実習指導員は、学校や実習施設のどちらか一方、または両方に兼任でいる学校が84.4%もある。また、臨床実習で特に問題となる点は、臨床実習担当の教員の確保(59.4%)であるが、問題がない学校も10.9%ある。

「准看学校」では、83.2%の学校が総合病院を実習施設として利用しており、精神病院も61.3%の学校が利用している。臨床実習指導員は、学校と施設の両方に兼任でいる学校が50.5%と各課程の中で一番高かった。また、臨床実習で問題となる点は、臨床実習担当の教師の確保(61.6%)や実習の日程の調節(51.6%)などをあげている学校が5割以上あるが、問題がない学校が11.8%もある。

「進学コース」では、総合病院(93.9%)や保健所(92.4%)で臨床実習をする学校は9割を越え、さらに、保育園や幼稚園(84.8%)、精神病院(80.7%)で実習をする学校は8割以上ある。利用する

実習施設の数は、4～5施設で実習をする学校が60.2%と一番多い。臨床実習指導員は、学校と施設の両方に兼任している学校が43.2%ある。また、臨床実習で問題となる点は、実習施設の確保（55.3%）や実習日程の調整（67.0%）、臨床実習担当教員の確保（69.7%）をあげている学校が5割以上ある。

「3年課程」では、総合病院（92.0%）や保育園・幼稚園（92.7%）、保健所（91.7%）で臨床実習をする学校は9割以上を越え、4～5施設で実習する学校が58.7%と一番多い。臨床実習指導員は、学校と実習施設の両方に専任・兼任をとわずいる学校が59.3%ある。また、69.0%の学校が臨床実習指導員の確保に問題があるとしている。

「短大」では、総合病院（97.7%）や保健所（90.9%）で臨床実習をする学校が9割を越え、4施設以上で実習する学校が、81.8%ある。臨床実習指導員は、学校と実習施設の両方に専任・兼任をとわずいる学校が65.9%ある。また、54.5%の学校が臨床実習指導員の確保に問題があるとしているが、問題がない学校が18.2%あり、各課程の中で一番高い割合である。

「大学」では、すべての学校で総合病院や保育園・幼稚園、保健所で実習しており、6施設以上で実習をしている学校が80.0%と、各課程の中で一番高い割合である。臨床実習指導員は、兼任・専任をとわずに学校にいる学校が80.0%と、各課程の中で一番高い割合である。また、実習日程の調整（80.0%）や臨床実習担当教員の確保（70.0%）を問題点としてあげている学校が7割以上ある。

Ⅶ 学校の職員

1. 管理職

学校の管理職を「学校長・学長」「副校長・副学長」「学部長」「教務主任・学科主任」という職種とし、その専任・兼任別をたずねたのが、表43である。

「高校衛看」と「大学」を除いた各課程では、兼任の学校長・学長の方が5割以上で専任よりも多かったが、「高校衛看」と「大学」では、逆に専任の学校長・学長の方が6割以上で兼任よりも多かった。

「准看学校」と「進学コース」、「3年課程」では、副校長・副学長がいる学校が5割以上であった。それ以外の各課程では、副校長・副学長がいない学校がほぼ5割以上で、特に「短大」や「大学」では8割以上の学校で、副校長、副学長がいなかった。

「短大」や「大学」を除く各課程では、学部長がいない学校の方が8割以上あった。

各課程では、教務主任・学科長がいる学校が8割以上あり、しかも専任が5割以上あり、兼任よりも多かった。

管理職がいる学校に対して、管理職の職種についてもたずねたのが、表44である。

「高校衛看」と「大学」を除く各課程では、学校長・校長や副校長・副学長の職種は『医師』が5割